

令和7年度 第4回 北星中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2026年2月4日（水）14時00分から15時30分まで
- 2 開催場所 北星中学校 校長室
- 3 出席委員 古山 照美、野中 美恵子、横田 明、澤田 ひろ子、伊藤 直孝、
松尾 剛志
- 4 欠席委員 長谷川 良樹、米倉 保之、宮地 完登
- 5 オブザーバー 神藤 純子（主任児童委員）
- 6 学 校 野中 崇（校長）、廣田 憲一（教頭）、鈴木 彰弘（教務主任）、
村松 美沙（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 村松 美沙
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、古山会長が務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 令和7年度学校関係者評価（学校評価アンケート）について
- (2) 令和8年度学校運営の基本方針について
- (3) 令和7年度学校運営協議会自己評価について

11 会議記録

司会の鈴木（教務主任）から、委員総数9人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和7年度学校関係者評価（学校評価アンケート）について

議長の指示により、教務主任（鈴木）から、別紙資料に基づき「学校関係者評価（学校評価アンケート）について」説明があった。

<御意見>

- ・アンケート項目1「学校での授業や学習を通して基礎基本の定着ができた。」と感じている生徒が約90%と高いが現状を教えてほしい。（野中委員）
教員の回答も90%以上と高く、授業を通して生徒と教師が良好な関係を築いている。タブレットPCを使用して学習する習慣は身に付いているため、基礎基本の定着を目的としたPCの活用も推進したい。（教務主任）
- ・基礎基本の学習は高校進学を重点としているのか、社会を生きてくための最低なルールなのか目指しているところを教えてほしい。（澤田委員）
文部科学省の学習指導要領をもとに授業は組み立てているが、評価については「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点がある。特に「思考・判断・表現」のプロセスが重視される傾向にある。それぞれの教科で目指すべきものが違って来るため一概には判断ができない。ICTの効果的な活用により、発表が苦手な子供もタブレットでいろいろな意見を聞けるため、一人一人の考えを深めることはできている。タブレット内でのAIの活用においては、教師は導入しているが、生徒については

リテラシーの育成や利用ルールの策定が整ったあとの導入になる。子供が家でスマホを使ってA Iで課題を取り組んでいる問題がある。(校長)

- ・ 参観会でタブレットが効率よく使われている活動を見た。タブレットの良さを活かしつつ、従来の書く活動も大事のためバランスを考えることが必要だと思う。表現力は将来社会で活躍するためには極めて重要である。そのため今の時期に十分な時間を費やして、この能力をしっかりと伸ばしてほしい。(松尾委員)

- ・ 教師のタブレットの操作レベルを教えてほしい。(澤田委員)

校内研修を何回も実施しているため、年齢関係なくタブレットを使っている。(校長)

- ・ 今後A Iによって全員が同じような答えを出す危険性を感じないか。(横田委員)

教員として知識を教えるのは当然だが、A Iには真似できない人の感性、対話を通じた心のキャッチボール、そして失敗から得られる知恵を生徒たちには何よりも大切に伝えたいと考えている。(校長)

- ・ 子供はわからないことがあると親に聞かずにタブレットで調べているので、家庭内の会話が減っているような気がする(伊藤委員)

スマホの使用時間を制限する自治体や16歳未満のSNSの利用禁止の法案が可決している国もある。教育でいち早くICTを取り入れた北欧ではデジタル機器による学力低下を受け、「紙と鉛筆」のアナログ教育へ回帰する動きもあるため、リテラシーを含めて利用方法を考えていく必要がある。(校長)

- ・ アンケート項目18「地域の活動や行事に積極的に参加している」と答えた生徒は54%と低い。こども食堂のボランティアに関しても減っているので、1年生から参加の声掛け等改善が必要と感じる。(古山委員)

(2) 令和8年度学校運営の基本方針について

議長の指示により、別紙資料に基づき、校長から「令和8年度学校運営の基本方針について」について説明があった。令和7年度との追加・変更点として、「A I英語教育」と「新たな価値を創出する部活動」である。「A I英語教育」では試験的にA I英語ソフトを導入し、生徒たちは積極的に活用している。「新たな価値を創出する部活動」では、3月に「休日部活動の地域展開」のガイドラインの策定が浜松市から発表される。休日の過ごし方について子供たちが選択する時代になってきている。

<御意見>

- ・ 部活動の指導者について、浜松市のホームページに大学生向けのボランティアを掲載したら大学生が安心して利用できると思う。(野中委員)

休日部活動の地域展開については指導者不足がある。大学にもボランティアの声をかけているが周知されていない。制度として利用すれば部活動指導員になれて報酬もある。

(校長)

- ・ A I活用として英語教育は向いていると思う。(澤田委員)

日本人は人前で間違ったら恥ずかしいという国民性があるが、A Iとの英会話は積極的に練習し上達している。ALTの授業が週1時間と考えるとA Iソフトは効率的と感じる。

(校長)

- ・ 英語教育の目標は。(横田委員)

目標は自分の思いや考えを相手に英語で伝えられること。今の子は小学3年生から英語にふれられているので物おじしないと感じる。「思考・判断・表現」を重視するため、テストの問題や採点も変わってきている。(校長)

令和8年度学校運営の基本方針について、大筋として本日提案された内容に基づいて来年度スタートすることです承した。

(3) 令和7年度学校運営協議会自己評価について

議長の指示により、教務主任(鈴木)から、別紙資料に基づき「学校運営協議会自己評価について」説明があった。「令和7年度学校運営協議会自己評価表」については了承され、教育委員会に会長名で提出し、学校ホームページにも公表する。

12 連絡

(1) 夢育やらまいかCS加算分の報告

「花いっぱい活動」は伝統ある活動で生徒と地域の方が接する良い機会となっている。

(2) NORTH STAR AWARD

(3) 学校運営協議会委員研修会(オンライン)の開催

令和8年2月25日(水)午後2時～午後3時30分でオンライン受講。

後日、さくら連絡網で学校または自宅で受講するかのアンケート実施。

(4) 協議会委員の継続・退任・後任について

退任：古山委員、松尾委員

新任：神藤さん、有友さん、来年度PTA副会長

(5) 令和8年度年間予定(案)

第1回 令和8年5月22日(金) 午後2時～午後4時

第2回 令和8年11月26日(木) 午後2時～午後4時

第3回 令和9年2月12日(金) 午後2時～午後4時

(6) その他予定

令和7年度卒業式 令和8年3月18日(水) 午前

令和8年度入学式 令和8年4月9日(木) 午後

※令和8年度入学式については令和8年度委員に出席依頼

(7) その他(澤田委員)

保護司の活動について

以上